

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	主要市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業費を拡大するため、補助金の導入を積極的に図る。市民ニーズに対応すべく、道路整備の更なる拡大とコスト削減のための整備手法の更なる検討。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	事業費を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。
②①に基づく取り組み結果	事業費を拡大するため、社会資本整備総合交付金を積極的に導入した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	主要市道	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行う。
②事務事業の概要	安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険箇所の線形改良、排水整備、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始前は、主要市道でも歩道が無く交通量に見合った幅員や舗装となっていなかった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	主要市道の舗装改良及び排水整備を行った。 (1)市道2号線舗装改良工事(L=319.5m)、(2)市道13号線舗装改良工事(L=267.3m)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	370	59	1318	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度から累計】	370	429	1747	m	業務取得
iii	「道路の状況」不満足度		—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	18,659	94,901	金額(千円)	内容		215,905	
国支出金(千円)	6,610	19,067	25,313	市道2号線舗装改良工事		31,240	
県支出金(千円)			28,389	市道13号線舗装改良工事			
市債その他(千円)						114,400	
一般財源(千円)	12,049	75,834				70,265	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、主要市道の整備は不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	市道13号線舗装改良工事他8路線	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	市道13号線舗装改良工事他8路線を整備。	142,383	143,425	当初	96,476	94,901
				H24⇒25繰越	11,642	
③達成状況	未完了			補正	35,307	現年分
④未完了・非着手の理由	市道5号線他の用地交渉、警察協議に時間を要するため。			流用・充当		
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		25,700

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	一般市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民ニーズに対応すべく、道路整備の更なる拡大とコスト縮減のための整備手法の更なる検討。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	市民のニーズに対応すべく、道路整備の更なる拡大とコスト縮減のための整備手法の更なる検討。
②①に基づく取組み結果	整備手法の検討を行い、社会資本整備総合交付金を導入した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市道	意図(対象をどうするのか)	安全でゆとりのある道路に整備する
②事務事業の概要	道路整備による地域環境の向上のため、道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	生活道路となる一般市道が未整備で、舗装整備や道路排水整備の必要があった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	一般市道の舗装改良及び排水整備を行った。 (1)市道1517号線排水整備工事(L=188.5m)、(2)市道1513号線舗装改良工事(L=422m)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	182	106	1009	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度から累計】	182	288	1297	m	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	7,387	32,628	金額(千円)	内容		45,364	
国支出金(千円)		5,231	16,691	市道1517号線排水整備工事			
県支出金(千円)			7,241	市道1513号線舗装改良工事			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	7,387	27,397				45,364	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、一般市道の整備は不可欠である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	舗装等整備	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	市道1517号線排水整備工事他5路線	38,020	38,020	当初	38,020	32,628	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			
③達成状況	未完了			補正			現年分
④未完了・非着手の理由	市道3661号線他道路境界確認に不測の時間を要した。			流用・充当			32,628
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		2,614	

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	私道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価の掲げた内容	市民ニーズに対応すべく、コスト縮減のための整備手法の更なる検討。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	市民のニーズに対応すべく、コスト縮減のための整備手法の更なる検討。
②①に基づく取組み結果	私道整備の舗装構成を一般市道整備の舗装構成よりも簡易的なものとし、コストの縮減を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	私道	意図(対象をどうするのか)	舗装整備工事を行う。
②事務事業の概要	道路整備による地域環境の向上のため、未舗装私道の舗装を推進し地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	事業開始当初は多くの私道が未舗装で日々の生活や環境・衛生面に悪影響を及ぼしていたが、本事業の推進により未舗装区間が少なくなってきた。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	鎌ヶ谷市私道舗装整備要綱に基づき、整備用件の整った私道について舗装を実施した。私道舗装整備事業(3組合)(L=103.2m)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	509	236	103	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度から累計】	509	746	849	m	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	3,375	2,573	金額(千円)	内容		1,500	
国支出金(千円)			2,573		私道舗装整備工事		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	3,375	2,573					1,500

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	私道舗装整備要綱の要件の緩和が今後の検討課題となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	市道整備の要望が多数あり、私道整備と市道整備のバランスを取る必要があるため、現状を継続する。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	私道舗装整備	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	私道舗装整備工事(道路管理組合3件)	2,580	2,580	当初	2,580	2,573	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	通学路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	路線測量及び詳細設計・用地測量等を行う。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	市道1号線の予備設計及び市道12号線の用地補償を推進する。
②①に基づく取り組み結果	測量委託、詳細設計委託を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒及び通学路	意図(対象をどうするのか)	児童生徒が安全に登下校できるようにする。
②事務事業の概要	児童・生徒が安全に通学できるよう、歩道のない通学路に歩道を整備し、登下校における安全性の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	通学路の拡幅や歩道確保をすることで、登下校時の通学路における児童生徒の安全を図る。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	市道1号線の路線測量と市道12号線の詳細設計を実施した。 (1)市道1号線路線測量委託(L=800m)、 (2)市道12号線詳細設計委託(L=100m、交差点設計)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	学校災害件数の割合		7.1	6.5	%	業務取得
	ii	事業費【平成24年度からの累計】		2,258	9,415	千円	決算書
	iii	工事延長【累計】		0	0	m	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	2,258	7,157	金額(千円)	内容	11,205		
	国支出金(千円)		3,129	市道1号線測量委託	1,980		
	県支出金(千円)		1,839	市道12号線詳細設計委託			
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	2,258	7,157		9,225		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	道路の拡幅等中長期的な時間を要する要望に対しては、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	多数の地権者と交渉し用地補償・工事を進める必要性がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	通学路整備工事	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	測量委託、詳細設計委託	8,600	8,600	当初	8,600	7,157	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	河川・水路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	整備時期は未定であるが、整備の目安が ついた段階で、整備方針等の検討を行う。	③平成26年度 に取組む 改革・改善 内容	整備時期は未定であるが、整備の 目安がついた段階で、整備方針等 の検討を行う。
②①に基づく 取り組み 結果	整備の目安がついていないため、整備方 針等の検討は行えなかった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①主要な水路 ②その他の水路	意図(対象をどう するのか)	浸水被害の軽減 隣接家屋等の安全性確保
②事務事業の概要	河川水路の整備を行うことにより、施設能力を確保し、各地で発生している浸水被害の軽減を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設の将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)紙敷川改修事業負担金(事業主体:松戸市) (2)金山落水路整備事業に伴う用地購入						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	主要な水路の暫定改修実施率	6.50	6.50	6.50	%	業務取得
	ii	主要な水路の50mm/hr改修実施率	2.60	2.60	2.60	%	業務取得
	iii	浸水面積(河川水路)	31.9	31.9	31.9	ha	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	2,714	11,893	金額(千円)		内容	10,903	
	国支出金(千円)		6,198		紙敷川改修事業負担金		
	県支出金(千円)		4,222		金山水路落測量委託		
	市債その他(千円)		1,408		金山落水路用地購入		
	一般財源(千円)	2,714	11,893			10,903	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	整備の目安がついていないため、整備方針等の検討に取り組めない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、効果的な手法の検討及び将来の整備に後戻りの無いよう配慮が必要のため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	・紙敷川改修負担金 ・金山落水路用地	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	・紙敷川改修負担金支払い済 ・金山落水路用地購入、測量完了	9,874	14,332	当初	9,874	11,893	H24からの繰越	4,222
				H24→25繰越	4,458			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	7,671
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	準用河川整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。
②①に基づく取組み結果	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある箇所について選定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	準用河川	意図(対象をどうするのか)	浸水被害の軽減 隣接家屋等の安全性確保
②事務事業の概要	河川の整備を行うことにより、施設能力を確保し、各地で発生している浸水被害の軽減を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設の将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)準用河川二和川護岸改修第27期工事 (L=215.2m 護岸改修工) (2)準用河川二和川河川整備基本計画の策定						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	暫定改修実施率	15.58	16.40	18.61	%	業務取得
	ii	50mm/hr改修実施率	11.42	11.42	11.42	%	業務取得
	iii	浸水面積(1級河川、準用河川)	82.0	81.5	81.5	ha	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	17,675	49,258	金額(千円)	内容			105,347
国支出金(千円)			32,164	二和川護岸改修第27期工事			
県支出金(千円)			9,200	二和川護岸改修第28期工事(前金)			
市債その他(千円)		32,300	6,999	二和川整備基本計画作成委託			42,200
一般財源(千円)	17,675	16,958					63,147

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	河川改修は下流から行うのが原則であるため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所を選定し、将来の整備に後戻り無いようにしなければならない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、効果的な手法の検討及び将来の整備に後戻りの無いよう配慮が必要なため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	二和川護岸改修工事	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	H24からの繰り越してある215.2mの護岸改修が完了	30,380	71,271	当初	30,380	49,258	H24からの繰越	39,163
				H24⇒25繰越	39,239		現年分	10,095
③達成状況	未完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由	H25着手分がH26に繰り越したため。			流用・充当	1,652			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		16,452		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	地域排水整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。
②①に基づく取組み結果	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある箇所について選定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域排水施設	意図(対象をどうするのか)	浸水被害の軽減
②事務事業の概要	河川、水路までの排水施設等の整備を行うことにより、各地域で発生している浸水被害の軽減を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設の将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)初富古桜地区地域排水整備工事(L=65.0m)、(2)東初富3丁目地区地域排水整備工事(L=25.3m)、(3)鎌ヶ谷5丁目地区地域排水整備工事(貯留量86.0m ³)、(4)鎌ヶ谷8丁目地区地域排水整備工事(貯留量 249.0m ³)					
②成果を表す指標	指標名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i 整備工事完了・着手箇所数	15	16	18	箇所	業務取得
	ii 浸水面積(地域排水)	11.2	11.1	11.1	ha	業務取得
	iii 浸透柵設置基数	6,174	6,263	6,411	基	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)	14,131	42,499	金額(千円)	内容	29,908	
国支出金(千円)			20,093	鎌ヶ谷8丁目整備工事		
県支出金(千円)			6,913	鎌ヶ谷5丁目整備工事		
市債その他(千円)		28,100	5,798	初富古桜地区対策工事		
一般財源(千円)	14,131	14,399	4,736	東初富3丁目整備工事	29,908	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、効果的な手法の検討及び将来の整備に後戻りの無いよう配慮が必要である。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	浸透柵モニター、鎌ヶ谷2丁目地区設計、初富古桜地区工事、丸山地区排水用地整備工事、軽井沢落山地区排水整備工事、東初富3丁目地区排水整備工事、鎌ヶ谷5・8丁目地区排水整備工事	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	浸透柵モニター、初富古桜地区工事、軽井沢整備工事を実施・完了した。	90,072	88,086	当初	40,072	42,528	H24からの繰越	1,628
				H24⇒25繰越	1,627		現年分	40,900
③達成状況	未完了			補正	50,000			
④未完了・非着手の理由	鎌ヶ谷2丁目地区設計がH26に繰越のため、丸山地区整備工事の入札が不調に終わったため。			流用・充当	-3,613			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)		10,637				

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	雨水貯留池整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。
②①に基づく取り組み結果	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある箇所について選定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	雨水貯留池	意図(対象をどうするのか)	河川の流量の調整を行う。 雨水の流出を抑制する。
②事務事業の概要	貯留池整備工事等を行うことにより、河川からの溢水による浸水被害の軽減を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	急激な都市化の進展により、雨水の流出量が増加し、河川の施設能力を超えるようになった。今後下流の整備が進むと、市域の河川施設の将来形での整備が可能となる。依然として浸水被害はあり、苦情や要望が多い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)南初富5丁目雨水貯留池用地購入(A=594㎡) (2)南初富5丁目雨水貯留池に伴う物件補償 (3)南初富5丁目貯留池整備工事着手(工期 H27.1.30まで)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	河川調節池の暫定整備率	85.71	85.71	85.71	%	業務取得
	ii	河川調節池の整備率	57.14	57.14	57.14	%	業務取得
	iii	貯留量	37,480	37,480	37,480	m3	業務取得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	63,498	68,339	金額(千円)	内容		163,770	
国支出金(千円)			40,000	南初富5丁目貯留池整備工事(継続費)			
県支出金(千円)			14,444	南初富5丁目貯留池用地購入			
市債その他(千円)	45,800	50,000	12,234	南初富5丁目雨水貯留池に伴う物件補償		152,100	
一般財源(千円)	17,698	18,339				11,670	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	浸水被害の軽減を図るには、下流の整備が進んでいない現状では、貯留池を整備することが最善策と考えられるため、より一層の整備を進める。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	南初富5丁目貯留池(事前調査・工事)	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	家屋等事前調査及び事前井戸水水質調査を実施。工事着手済み(工期H27.1.30まで)。	41,160	98,690	当初	0	68,508	H24からの繰越	26,678
				H24⇒25繰越	56,829		現年分	41,830
③達成状況	完了			補正	41,160			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	701			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)	0			

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業の進捗を図るため、事業主体である千葉県と連携を図るとともに、必要な財源の確保を図る。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	事業主体である千葉県と連携を図るとともに、必要な財源の確保を図る。
②①に基づく取組み結果	用地の取得にあたり、事業主体の千葉県と連携し、事業の進捗を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・5号線	意図(対象をどうするのか)	地元負担金を支払う。
②事務事業の概要	事業主体である千葉県に対し、地元負担金を支払う。事業延長280m、幅員18m、用地面積4,220㎡、事業認可平成13年12月10日～平成31年3月31日。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	南初富区間から新鎌ヶ谷地区まで供用開始したことにより、県道船橋我孫子線のバイパスとしての機能を発揮することが求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	県事業による都市計画道路3・4・5号線の用地(89.8㎡)取得。(県事業)						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	11,695	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	32	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	14,313	10,005	金額(千円)	内容		3,000	
国支出金(千円)			10,005	県事業への負担			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)	11,900						
一般財源(千円)	2,413	10,005				3,000	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	県道船橋我孫子線(栗野十字路)との接続形状について県と協議する必要性がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要性がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	・地元負担金 ・地権者と用地交渉を行う。(県事業)	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	・負担金を支出した。 ・用地約89.8㎡を取得した。(県事業)	10,005	10,005	当初	3,000	10,005	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正	7,005		
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	新京成線連続立体交差事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	322利便性の高い公共交通体系の充実	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業の進捗を図るため、事業主体である千葉県及び関係機関と調整するとともに、必要な財源の確保を図る。	③平成26年度に取組む改革・改善内容	事業の進捗を図るため、事業主体である千葉県及び関係機関と調整するとともに、必要な財源の確保を図る。
②①に基づく取組み結果	事業主体である千葉県及び関係機関と調整を行い、必要な財源の確保を図った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	新京成線高架橋	意図(対象をどうするのか)	関係機関調整し、高架を実現させる(地元負担金を支払う)。
②事務事業の概要	本市の東西を走る新京成線を高架化し、踏切遮断による交通渋滞や市街地の分断等を解消する目的で、県が事業主体となり事業を施行する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新京成線の踏切遮断による交通渋滞、踏切事故や都市の安全性、快適性に遅れが生じていることにより、踏切を早く除却するように求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	新鎌ヶ谷区間は高架橋築造工事を実施し、初富区間は仮線工事を進め、北初富区間は仮線に切り替えた。					
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	算定根拠
	i	用地取得率(取得済/用地面積)	97	97	100	% 業務取得
	ii	事業進捗率(事業費ベース)	45	53	65	% 業務取得
	iii	鉄道駅乗降客数(1日当たり)	184,384	189,701	調査中	人 統計かまがや
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算
事業費(千円)	498,242	670,533	金額(千円)	内容		1,025,052
国支出金(千円)			670,533	県事業への負担金		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)	370,200	641,100				931,100
一般財源(千円)	128,042	29,433				93,952

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	踏切により、交通渋滞が多く、市街地が分断されている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民から早期完成が求められているため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	負担金支出	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	県に負担金を支出した。	615,682	957,584	当初	615,682	670,533	H24からの繰越	628,933
				H24⇒25繰越	640,583			
③達成状況	未完了			補正	-298,681		現年分	41,600
④未完了・非着手の理由	国の補正予算に伴い年度内の完了が見込まれない。			流用・充当				
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		263,334		

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・3・16号新鎌ヶ谷南線整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	—	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。
②①に基づく取組み結果	—		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・3・16号線	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行い、道路整備を図る。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷特定土地地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	都市計画道路3・3・16号線の測量委託を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	11,695	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	32	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)		2,998	金額(千円)	内容	3,000		
国支出金(千円)			2,998	測量委託			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		2,998			3,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新鎌ヶ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新鎌ヶ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	設計図書作成	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	測量委託を実施し、設計図書を作成した。	3,000	3,000	当初	3,000	2,998	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(新鎌ヶ谷)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	—	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。
②①に基づく取組み結果	—		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行い、道路整備を図る。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷特定土地地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	都市計画道路3・4・10号線(新鎌ヶ谷)の測量委託を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	11,695	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	32	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)		2,998	金額(千円)	内容	3,000		
国支出金(千円)			2,998	測量委託			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		2,998			3,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新鎌ヶ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新鎌ヶ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	設計図書作成	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	測量委託を実施し、設計図書を作成した。	3,000	3,000	当初	3,000	2,998	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(交差部)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	—	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。
②①に基づく取組み結果	—		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	測量、設計、用地補償、工事を行い、道路整備を図る。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新鎌ヶ谷特定土地地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	都市計画道路3・4・10号線(交差部)の測量委託を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	11,695	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	32	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)		2,998	金額(千円)	内容	3,000		
国支出金(千円)			2,998	測量委託			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		2,998			3,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新鎌ヶ谷地区周辺には東西をアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新鎌ヶ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	設計図書作成	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	測量委託を実施し、設計図書を作成した。	3,000	3,000	当初	3,000	2,998	H24からの繰越
				H24⇒25繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業(中沢)	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	—	③平成26年度に取組む改革・改善内容	都市計画道路の計画変更に向けて関係機関と協議を行うとともに、予備設計、路線測量を行う。
②①に基づく取組み結果	—		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図(対象をどうするのか)	計画変更及び予備設計、測量を実施し、道路整備を図る。
②事務事業の概要	都市計画道路の計画変更に必要な概略設計を行い、その後、予備設計、測量を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	一級河川大柏川第二調節池整備事業及び地元要望に伴い都市計画道路の計画変更が必要となった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	概略設計委託の着手						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	11,695	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	32	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	—	—	66.4	%	市民意識調査
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)		0	金額(千円)	内容	25,500		
国支出金(千円)							
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)					25,500		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	一級河川大柏川第二調節池整備事業との整備計画の整合を図ること。また、現道との接続方法を決定すること。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗状況と合わせ周辺の一体的な整備が必要である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	概略設計	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	概略設計の着手	5,500	5,500	当初	0	H24からの繰越	
				H24⇒25繰越		現年分	0
③達成状況	未完了			補正	5,500		
④未完了・非着手の理由	警察協議等に不測の時間を要するため。	流用・充当					
		平成26年度への繰越額(単位:千円)		5,500			